

競技規定

以下に定めるローカルルール以外は、Jリーグ競技規定に従う。

テイクオフ方法

テイクオフ

水の丸をメインテイクオフとし、三頭山テイクオフをサブテイクオフとする。

ランチオーダーテイクオフ

- a. テイクオフは、タイムインターバルランチオーダー形式とする。テイクオフはウエイティングエリアとテイクオフエリアに分けられ、上段テイクオフエリア前にゲートを設け、テイクオフゲートの前にはウエイティングレーンを設ける。そして、選手はゲートを通ずるためには、ウエイティングレーンに並ばなくてはならない。
- b. ウエイティングレーンへ並ぶためには、決められた間隔(例: 10 分間隔)でテイクオフディレクターが意思確認をした際、レーンへ並ぶ意思を示した者がレーンへ進入することが出来る。同時刻に意思を示した選手がいた場合はあらかじめ決められた優先順位で並び、一回のコールでレーンに入れる人数は優先順位の上位順に20名とする。また、一旦ウエイティングレーンへ並んだ選手はウエイティングエリアへ戻ることは出来ない。(但しd.eの項目によってウエイティングエリアへ戻った選手を除く。また、d.eの項目でウエイティングエリアへ戻った選手の優先順位は消滅するものとする。)
- c. 選手はウエイティングレーンに並ぶ前に機体のラインチェックをすまし、GPSを補足させた上でハーネスを装着し機体を広げるとすぐにテイクオフできる状態でウエイティングレーンに入らなければならない。
- d. テイクオフエリアの選手は、ウエイティングレーンに選手が並ばなかった場合フリーテイクオフとなるが、ウエイティングレーンに他の選手が並んだ場合は、テイクオフディレクターの指示から30秒以内にテイクオフするか、ウエイティングエリアへ戻らなければならない。また、何らかの理由によってテイクオフクローズとなった場合、先頭の選手はオープン後1分以内にテイクオフするか、ウエイティングエリアへ戻らなければならない。
- e. テイクオフに失敗した場合は再度トライできるが、それでも失敗した場合はテイクオフエリアを出て、ウエイティングエリアに戻る。再度のトライに時間がかかると思われる場合はテイクオフディレクターの指示に従う。また、失敗が取り止かの判断はテイクオフディレクターが行い、選手はその判断に従う。
- f. 優先順位は前日までの公式順位順とする。但し初日は受付にて抽選し優先順位を決める。

リフライト

無し

・抗議提出の際に供託金が必要

不服申立て(コンプレイン)

コンプレインは訂正してもらうことが目的であり、抗議(プロテスト)を行うものではない。競技中何かに不満を持った場合、まず担当役員にその処置につき援助を依頼する。その処置に不満がある場合、選手は競技委員長にコンプレインを行うことができる。このコンプレインは不満があった場合直ちに行わなければならない。仮発表に対するコンプレインは発表後30分(最終日においては10分)以内に行わなければならない。

抗議(プロテスト)

- a. コンプレインが受け入れられなかった場合、選手は抗議することが出来る。
- b. 抗議は、当該事由発生後30分(最終日においては10分)以内に供託金5千円を添えて書面で大会競技委員長に提出しなければならない。
- c. 供託金は、抗議が認められた場合は返却し、認められなかった場合は没収される。